

# 令和 7 年亀岡市議会定例会 1 2 月議会一般質問

亀岡市議会

# 令和7年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式
12月9日(火)	10:00～	個人	1	法貴 隆司	一問一答
	10:45～		2	平本 英久	一問一答
			休憩		
	13:00～		3	梅本 靖博	一問一答
	13:45～		4	原野 実生子	一問一答
			休憩		
	14:45～		5	片山 輝夫	一問一答
12月10日(水)	10:00～	個人	6	林 徹司	一問一答
	10:45～		7	小林 仁	一問一答
			休憩		
	13:00～		8	齊藤 一義	一問一答
	13:45～		9	竹内 博士	一問一答
			休憩		
	14:45～		10	木村 勲	一問一答
12月11日(木)	15:30～		11	三上 泉	一問一答
	10:00～	個人	12	山本 由美子	一問一答
	10:45～		13	菱田 光紀	一問一答
			休憩		
	13:00～		14	浅田 晴彦	一問一答
	13:45～		15	土岐 新	一問一答
			休憩		
12月12日(金)	14:45～		16	山木 裕也	一問一答
	15:30～		17	大西 陽春	一問一答
	10:00～	個人	18	富谷 加都子	一問一答
	10:45～		19	大石 慶明	一問一答
			休憩		
	13:00～		20	松山 雅行	一問一答
	13:45～		21	福井 英昭	一問一答
			休憩		
12月12日(金)	14:45～		22	西口 純生	一問一答

## 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和7年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	法貴 隆司 12月9日(火) 10:00~  ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>市制施行70周年を迎え、記念事業や冠事業を行うことは、市民への感謝を示し、市の歩みと魅力を再認識する重要な機会である。さらに、節目の年に交流や観光の取組を強化することで、郷土愛を高め、未来へ向けたまちづくりの推進力となる。また、地球温暖化や異常気象が深刻化する中、地域から持続可能な社会を築くことが求められている。再生可能エネルギーの活用や電気自動車の普及促進など、環境施策に積極的に取り組むことは、市民の安全・安心な暮らしを守り、未来の世代に美しい環境を引き継ぐために重要である。国では、高市政権が発足し、責任ある積極財政の理念のもとに、21.3兆円に及ぶ大型の経済対策が打ち出された。その柱は、「物価高対策」や「危機管理投資・成長投資」、「防衛力強化」などである。そこで市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1) 物価高対策について、地方公共団体が実施する、いわゆるお米券やプレミアム商品券、水道料金の減免、子育て応援手当などの事業メニューが示されていると報道されている。そこで、亀岡市として、この国の経済対策について、どのような方針で対応していくのか。市長の所見は。</p> <p>(2) 本年、多くの市制70周年記念事業及び冠事業が開催されたが成果に対する所見は。</p> <p>(3) 多くの市民が心待ちにしていた、「京都・保津川花火大会2025」は、悪天候によりやむなく中止となったが、本市としてどのように捉え、どのような方針をもっているのか。</p> <p>(4) 本市における環境施策全体の中で、EV普及をどのような位置づけで考えているのか。</p> <p>(5) 本市における電気自動車の登録台数は。</p> <p>(6) 本市公用車のEV化率と今後の導入計画は。</p> <p>(7) 太陽光発電やV2Hシステムと連携した、災害時の電源確保を兼ねたEV活用策についての所見は。</p> <p>(8) 市民及び事業者が電気自動車を購入する際の経済的支援についての所見は。</p> <p>(9) 電気自動車導入を促進するため本市独自の購入補助金を導入する考えは。</p> <p>(10) EV車両の普及推進のため、公共施設に充電設備を整備しては。</p>	市長

		<p>2 公共交通について</p> <p>公共交通事業は深刻な人材不足に直面しており、運転手の確保は地域交通の維持に直結する重要課題である。また、高齢化の進展に伴い、運転免許を返納する高齢者の移動手段の確保も急務である。</p> <p>(1) 市内公共交通の運転手不足の現状と、事業者への影響についての所見は。</p> <p>(2) 公共交通分野への就業に関心のある人材の勧誘について、市として検討している施策はあるのか。</p> <p>(3) 敬老乗車券の利用対象年齢拡大や販売数の拡充について検討できないか。</p>	市長 所管部長
		<p>3 獣害対策について</p> <p>本市において熊の目撃、痕跡情報が報告され、住民の安全や安心が脅かされている。市民が安心して暮らせるまちづくりのため、獣害対策は重要な行政課題である。</p> <p>(1) 熊の目撃件数や農作物の被害状況は。</p> <p>(2) 市民への啓発活動をより一層強化する考えは。</p> <p>(3) 現在の緊急銃猟体制は。</p>	市長 所管部長
		<p>4 交通安全について</p> <p>交通事故は命に関わる社会的損失であり、地域住民の生命を守るため行政の積極的な関与が必要である。</p> <p>(1) 国道423号から加塚交差点に向け走行する車両が左折専用レーンを常時左折可能と勘違いし、赤信号でも交差点に進入する車両が見受けられるが看板、路面標示などで注意喚起できないか。</p>	市長 所管部長
		<p>5 地域課題について</p> <p>曾我部町の彼岸花は、毎年多くの観光客が訪れる地域の貴重な観光資源である。しかし、最近は無断駐車や立ち入りなど、観覧マナーが著しく悪化しているとの報告がある。</p> <p>(1) 来年は彼岸花の見頃が全国都市緑化フェアin京都丹波の開催時期と重なるが、行政として地域住民への影響対策や観光客への対応は考えているのか。</p>	市長 所管部長
2	<p>平本 英久 12月9日(火) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>これまで子どもファースト宣言をはじめ、多くの民間企業との連携の中で様々なにぎわい創出などに取り組んできた本市であるが、桂川市長が目指す本市の未来像やビジョンについて問う。</p> <p>(1) 近畿圏における地域経済の発展や活性化に大きな期待が寄せられている北陸新幹線であるが、市長の考え方はどうか。</p> <p>(2) 本市における福祉の在り方についての考えはどうか。</p> <p>(3) 高齢者が健やかに暮らすことができる環境整備は重要であるが、加齢性難聴を補う</p>	市長

		<p>2 子どもたちの健やかな成長について</p> <p>3 環境先進都市としての新たな取組について</p> <p>4 防災減災に向けた取組について</p>	<p>補聴器の購入支援についての考えはどうか。</p> <p>(4) 市長が目指す本市の未来像はどうか。</p> <p>これまでも児童生徒たちの学習環境の整備に積極的に取り組んできた本市であるが、これまでの事業成果や今後の取組について問う。</p> <p>(1) 北朝鮮による拉致問題は人権学習を学ぶ上で大変重要だと考えるが、児童生徒に向けた啓発についての考えは。</p> <p>(2) 人権学習の一環として授業の中で啓発動画の上映を行う考えは。</p> <p>(3) 生徒間の国際交流を目的として実施された台湾宜蘭県への訪問の状況や成果は。</p> <p>(4) 子育てフェスタ ～かめおか・子どもファースト・E X P O～が開催されたが実績や成果は。</p> <p>(5) 全国的な課題である児童虐待の本市における現状はどうか。</p> <p>(6) 今後ヤングケラーの問題など、子どもたちの健全育成の上で多様な子ども施策を実施していく必要があるが、本市における見通しや課題はどうか。</p> <p>環境先進都市を目指して様々な民間企業との連携協定を通して先進的な環境政策に取り組んできたが、成果と今後の取組について問う。</p> <p>(1) 市制70周年事業として新たに亀岡わんわんフェスタ2025が開催されたが成果はどうか。</p> <p>(2) 「スポGOMI ～亀岡市長杯～」並びに「かめおかサーキュラーフェス」が開催されたが成果はどうか。</p> <p>(3) これまでも市民の協力の上で進めてきた使用済み食用油を再資源化する「S A F (サフ)」事業の現状は。</p> <p>南海トラフ地震に備えて常に防災減災に向けた強いまちづくりが必要であるが、本市の防災や災害時の備えについての考え方を問う。</p> <p>(1) 以前から提唱してきた災害による断水時に利用できる井戸の把握や体制はどうか。</p> <p>(2) この度補正予算に計上されているJ A京都本店跡地の防災拠点整備はどのようなものか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
3	<p>梅本 靖博 12月9日(火) 13:00～</p> <p>※一問一答</p>	1 指定地域共同活動団体について	<p>地域を市の公式なパートナーとして位置づけ、行政と地域が自然に協力し合える関係をつくる「指定地域共同活動団体制度」と、その一つの選択肢である地域主体型交通の制度設計について問う。</p> <p>(1) 指定地域共同活動団体制度に対する認識は。</p>	市長 所管部長

		<p>(2) 地域主体型交通の課題についての認識は。</p> <p>(3) 指定地域共同活動団体制度を活用し、地域主体型交通の運営を強化する考えは。</p> <p>(4) 新たに条例を制定し、この制度を位置づける必要性についての考えは。</p>	
	2 軽四救急車の導入について	<p>軽四救急車導入の必要性和、狭小地における救急体制の強化について問う。</p> <p>(1) 幅員が狭小な道路や山間地など、救急車が近くまで進入できない地域の現状を把握しているのか。</p> <p>(2) ストレッチャーで搬送することによる救急隊員及び傷病者に係る負担と救命率への影響はどうか。</p> <p>(3) 軽四救急車の制度的な位置づけと、狭小地における有効性についての認識は。</p> <p>(4) 幅員が狭小などの理由で搬送に時間を要した件数など、軽四救急車の必要性を確かめるための調査の実施と「小規模導入することによる効果の検証」を検討する考えは。</p>	市長 所管部長
	3 就学時支援について	<p>亀岡市は、2030年の将来像として「亀岡市SDGs未来都市計画」を策定している。その実現には、子育て世帯の経済的な負担の軽減、特に教育のスタートの段階となる入学準備費負担の軽減が大変重要であると考え。</p> <p>(1) 入学準備費の経済的な負担をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 「子どもファースト」を掲げる亀岡市として、入学準備費のさらなる軽減に向けて、国の交付金を活用し、中学校入学準備金まで対象を拡大、また、支援制度を拡充する考えは。</p> <p>(3) 経済的支援と併せて、制服や体操服の再利用は、保護者負担の軽減と環境負荷の削減の両面で有効である。民間事業者と連携し、本市として制服リユースの普及を後押しするべきではないか。</p> <p>(4) 民間事業者と連携して制服のリユースを進めていく考えは。</p> <p>(5) サーキュラーかめおかラボを活用し、制服をリユースするイベントなどを開催する考えは。</p>	市長 教育長 所管部長
	4 ごみ袋の仕様について	<p>環境負荷を減らすために分別の努力を続けている市民の思いに応え、生活実態に寄り添った形での指定ごみ袋の販売単位・サイズの見直しが必要であると考え。</p> <p>(1) 現在のごみ排出量の推移、特に「埋め立てるしかないごみ」の傾向と認識は。</p>	市長 所管部長

			<p>(2) 販売単位と利用実態の乖離についての認識はどうか。</p> <p>(3) 高齢者や単身世帯など、ごみの排出量が少量な世帯の衛生環境などに配慮し、購入単位を見直し、より購入しやすい仕組みを試行的に導入してはどうか。</p> <p>(4) 燃やすしかないごみをさらに削減するため、生ごみの減量や資源化を図る取組を行ってはどうか。</p>	
4	<p>原野実生子 12月9日(火) 13:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育て支援について</p> <p>2 My助産師について</p> <p>3 市立病院について</p> <p>4 有害鳥獣被害について</p>	<p>産後のお母さんたちにとって、産後ケア事業をより利用しやすい事業となるよう、本市の考えを問う。</p> <p>(1) 産後ケア事業の宿泊型、日帰り個別型、訪問型の利用実績は。</p> <p>(2) ケアの種類ごとに、リピート利用はあるのか。</p> <p>(3) 産後ケア事業が、産後のお母さんたちにとってより身近になる必要性があると考えるが本市の所見は。</p> <p>(4) 宿泊型の産後ケア事業をお試しができるような取組は行えないか。</p> <p>丹波篠山市は令和2年8月からMy助産師による産前産後ケア、My助産師ステーション事業を行っている。妊娠期から産後にかけての相談をMy助産師が継続して担当されている。</p> <p>(1) 母子手帳の受け取りから、産後の赤ちゃんの訪問まで、1人の助産師が伴走する担当助産師を試験的に運用してはどうか。</p> <p>市民の医療を支える本市の病院として、医師の退職等に伴って、医師の欠員が出た場合による予約等の取扱いについて問う。</p> <p>(1) 医師の退職等に伴って、担当医師が不在となった場合、患者が代理の医師から診察を受けて処方箋を貰う場合がある。その場合、代理の医師への予約を取ることができないと聞くが現状は。</p> <p>(2) 医師の退職等に伴って担当医師が不在になった場合でも、代理の医師への診察の予約を取れるようにすることは可能か。</p> <p>有害鳥獣被害は農業従事者の方にとっては死活問題である。</p> <p>(1) 市内における有害鳥獣の被害件数は。</p> <p>(2) 市内におけるイノシシ、鹿の頭数把握はなされているのか。</p> <p>(3) 有害鳥獣の駆除願申請件数は。</p> <p>(4) 有害鳥獣の被害における本市が考える課題は。</p> <p>(5) 箱罾が必要な地域に箱罾購入の補助等を行ってはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

5	<p>片山 輝夫 12月9日(火) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 総合経済対策の重点支援地方交付金について</p> <p>3 地域循環型経済について</p> <p>4 農林業振興対策について</p>	<p>高市首相の「台湾有事」や「非核三原則の見直し」など、軍事的緊張を高める発言や、祝園弾薬庫や舞鶴自衛隊基地の増強で、有事の際武器・弾薬が市内を通過することに、市民から不安の声が上がっている。</p> <p>(1) 台湾有事が日本の存立危機事態に該当するとの高市発言についての見解は。</p> <p>(2) 非核三原則の見直し発言に対する市長の見解は。</p> <p>(3) 防衛費の年間予算がGDP2%で11兆円、3.5%で21兆円と大幅増がトランプ政権から要求されているが市長の見解は。</p> <p>政府が進める物価高騰対策(案)の中で2兆円の重点支援地方交付金メニューの概要が示された。物価高騰で市民全体、特に高齢一人世帯を直撃している。「毎日パンばかり食べている」との悲痛な声も聞く。</p> <p>(1) 今回の交付金について、市としてどのような方針でメニュー選定を行うのか。</p> <p>(2) 子どもへの給付金やガソリン暫定税率廃止は高齢者にはメリットが少ない。今回の交付金を活用し、「安心長寿の福祉助成金」のような事業で、上下水道料金の減免に取り組む考えはないか。</p> <p>(3) この間子どもファーストクーポン・お米(5kg)配布事業や高齢者お米購入応援クーポン事業を実施してきたが、子育てを終えた真ん中世代を対象とした事業を実施する考えはないか。</p> <p>市内事業者は人件費や原材料の高騰による価格転嫁が難しい中、依然として厳しい状況が続いている。</p> <p>(1) 12月から小規模事業者登録制度の対象となる小規模修繕工事の予定価格が、50万円から100万円に引き上げられたが、関係団体等へどのように周知徹底するのか。</p> <p>(2) 地域経済活性化の波及効果が大きい、住宅リニューアル助成制度や商店リニューアル助成制度を創設する考えは。</p> <p>(3) 新規起業者に対して、空き店舗リニューアル助成制度を創設する考えは。</p> <p>(4) 公契約条例制定と合わせて、賃上げ支援交付金事業の創設を検討すべきでないか。</p> <p>市内農業者が営農を継続するためには、再生産が可能な所得を補償することが不可欠になっている。</p> <p>(1) お米の再生産可能な所得補償(生産費と買取価格の差を補填する)により、消費者には適正価格で提供することができる。</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	--	--	--



			<p>市単独でも事業を創設する考えはないか。</p> <p>(2) 農業者の減少は耕作放棄地の増加につながる。耕作放棄地をこれ以上増やさず、減少に転じ中山間地の生活と環境を守る対策を今後どのように展開していくのか。</p>	
6	<p>林 徹司</p> <p>12月10日(水)</p> <p>10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 みんなで支える子ども・子育て支援について</p> <p>2 学校教育活動と地域活動の連携について</p>	<p>本市は子どもファースト宣言を行い、子育て世代に注力した取組を進めているが、一方で子どもたちの中には育児放棄やヤングケアラーとなり安心した生活や教育の機会を失う子どもがいる。そのために、これまで以上にきめ細やかな支援連携体制の構築が必要ではないか。</p> <p>(1) ネグレクトやヤングケアラーの現状は。</p> <p>(2) ネグレクトとヤングケアラー双方を抱えるケースの子どもはどうか。</p> <p>(3) 支援を必要とする子どもたち自身が気づく場所は。</p> <p>(4) 現在どのような把握に努め、特性やライフサイクルに合った支援対応をしているのか。</p> <p>(5) 要保護児童対策地域協議会(要対協)では未然に困窮を防ぐために子どもへの把握や気づきの対応はどうか。</p> <p>(6) 行政側からの公的支援以外に充実したのではないかとと思われることは何か。</p> <p>(7) 誰でも駆け込めるような安全・安心な場所が必要では。</p> <p>(8) 重層的支援とあるが福祉、子ども支援、学校、地域支援の情報交換や連携による支援体制やシステムがもっと必要ではないか。</p> <p>今後人口減少・少子高齢化に伴い、昨年3月京都府教育委員会より発表された京都府学校部活動及び地域クラブ活動推進指針があるが本市における現状と課題について問う。</p> <p>(1) 令和7年度までの改革推進期間で本市における状況はどうか。</p> <p>(2) 来年度以降については学校部活動の地域連携・地域展開に向けた環境整備を子どもたちにふさわしいスポーツ・文化芸術活動を着実に増加させることを目指すとあるが本市の取組は。</p> <p>(3) 本市における地域展開に向けた人材バンクの進捗は。</p> <p>(4) 今後のタイムスケジュールは。</p> <p>(5) 地域やスポーツ・文化芸術団体との連携協働での注意点と地域に協力を求める上での重要な点は。</p> <p>(6) 本市における地域展開に係るPTAの役割の現状は。</p> <p>(7) 学校や地域による格差や特性に対してどのように取り組んで行くのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		3 自治会活動の現状と役割について	<p>町内会や自治会の取組は暮らしを支える協働事業として大切であると思うが新たな岐路でもあると言える。</p> <p>(1) 本市が考える自治会の役割や重要性は。</p> <p>(2) 現状について今後、危惧することとその対策はどう考えているのか。</p> <p>(3) 山形県川西町では自治会がNPO法人となって自ら主体的に運営を行っており、行政の限られた資源へ貢献している事例があるが本市として進める考えは。</p>	市長 所管部長
7	<p>小林 仁</p> <p>12月10日(水)</p> <p>10:45～</p> <p>※一問一答</p>	1 閉校した西部地区3小学校の利活用について	<p>本市の少子化に伴う学校規模適正化による学校の統廃合は教育環境の適正化という観点から避けられない課題であることは理解している。しかし地域住民にとって、学校は単なる教育施設ではなく、地域コミュニティの核、防災の拠点、そして幾多の思い出が詰まった象徴的な場所である。「学校がなくなると、地域が寂れてしまうのではないか」という住民の不安に対し、市は明確なビジョンを示す責任がある。</p> <p>(1) 令和5年12月議会において、同じ質問を行い、行政内部の審議会、委員会の必要性の質問に対し「閉校後の学校施設を含めた公共施設については、利活用や売却等の検討を進めることとされており、そのために市長を本部長として組織する公共施設マネジメント推進本部を設置している」との回答であった。この公共施設マネジメント推進本部は西部地区の閉校3小学校の利活用のために機能しているのか。</p> <p>(2) 同じく、「横断的な検討、協議を行う場としては、施設所管の課長級等で組織する検討部会を置くことができると定めている」との回答であったが、検討部会は設置されているのか。</p> <p>(3) 利活用に向けた市の基本方針の策定がスタートだと考えるが、閉校後の施設をどのように位置づけ、いつまでに方針を決定するのか。現時点での市の考えと、決定までのタイムラインは。</p> <p>(4) 利活用の内容を決定するにあたっては、地域住民の声を十分に反映させるプロセスが必要である。2自治会においてはプロジェクト等を設置しているが、市との協働となっていない。地域と膝を突き合わせて議論する場を設ける考えはあるのか。</p> <p>(5) 旧青野小学校の利活用について、宮前町では検討会を立ち上げた後に方針が二転し、検討会は解散した。市としての方向性はどうか。</p> <p>(6) 施設の利活用については、公共利用に固執せず、民間活力の導入に向けたサウンディング調査が必要と考えるが所見は。</p>	市長 教育長 所管部長

		<p>(7) 閉校は、少子化による人口減少が要因であるが、若者の流出も要因である。徳島県神山町では仕事と生活を融合させる取組としてサテライトオフィスを誘致し、多くの企業が進出している。本市においても閉校施設をサテライトオフィスとして企業を誘致し、仕事と生活と子育てが融合するまちとして活性化することはできないか。</p>	
	2 通学区域外からの就学について	<p>学校規模適正化により、義務教育学校として育親学園が開校して間もなく2年となる。本市における義務教育学校のモデル校として様々な取組によって世間の注目を集める存在となっている。また、育親学園への通学区域にある2つの保育所は、2020年以降にこども園として開園し、入園者も急増している。自然豊かな環境での就学を希望する保護者の願いにより、「亀岡市立小学校、中学校及び義務教育学校児童生徒の就学に関する事務処理規程」の指定学校の変更に「亀岡市立認定こども園条例第1条に規定するこども園を卒園し、当該認定こども園の存する通学区域の義務教育学校に就学する場合」が追記され、育親学園への就学が可能となった。しかし、現状は指定学校の変更を申請する保護者はいない。問題点を解決し、希望に満ちた教育の実現について問う。</p> <p>(1) 学校規模適正化により統合した育親学園の学校規模人数の想定と現状の在籍者数は。</p> <p>(2) 育親学園を小規模特認校とする考えはないか。</p> <p>(3) 通学区域外から義務教育学校へ就学したい、させたいと考える児童・保護者はいると考えるが、調査を行っているのか。</p> <p>(4) 通学区域外から育親学園への就学を検討する場合、保護者の責任と費用負担を前提に通学させなければならないが、ダブルケアや9年間の送迎の負担は計り知れない。せめて公共交通で通学できればと考えるが、通学時間帯にバスの運行がないのが現状である。新しい制度はできたが運用ができないと考える。公共交通機関にて通学できるバスダイヤの構築、若しくは小規模特認校制度と同様のスクールバス運行はできないか。</p>	市長 教育長 所管部長
	3 幼保小の架け橋プログラムについて	<p>幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが重要とされている。そのためには、幼児教育と小学校教育を円滑に接続する必要があり、文部科学省にて2022年度から「幼保小の架け橋プログラム」が事業として推進されている。0歳</p>	市長 教育長 所管部長

			<p>から１８歳までの学びの連続性の第１ステップである幼保小連携・連続について本市の取組を問う。</p> <p>(１) 幼保小の架け橋プログラムの目的と内容は。</p> <p>(２) 本プログラムの実施にあたり、行政としてどのような予算措置と人員配置を行っているのか。</p> <p>(３) 本プログラムは、小１プロブレムへの対応に留まらず、不登校、いじめ問題の未然防止につながるものとして認識しているのか。</p> <p>(４) 幼保施設の種類（公立・私立、幼稚園・保育所・こども園など）や学校規模による格差や、幼保は入園先の選択制に対し、小中学校の学区制で連携先を迷うなどの問題が生じていないか。</p> <p>(５) 本市において、実施効果は。</p> <p>(６) 本プログラムを持続的・発展的な取組として定着させていく方針か。</p>	
8	<p>齊藤 一義 12月10日(水) 13:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 熊対策について</p> <p>2 犬と暮らしやすいまち亀岡の推進について</p>	<p>今年は全国で熊による被害が深刻である。今のところ本市で人的被害は報告されていないが、熊対策は必須である。</p> <p>(１) 全国で唯一熊の個体数を管理されている兵庫県を見習い、GPS装置を導入する考えは。</p> <p>人間と熊が共存・共生するためには、すみ分けが必要であると考え。</p> <p>(２) 人工林を伐採するバッファゾーン整備の促進を京都府へ要望する考えは。</p> <p>(３) 柿や栗の木を伐採するための補助金創設と市で伐採する考えは。</p> <p>本市が「犬と暮らしやすいまち亀岡」を目指していることに異論はないが、全国で急増して社会問題化している「野犬」を発生させない対策をしてこそ「安心して犬と暮らしやすいまちづくり」ができると考える。飼い主が高齢で突然入院して犬や猫を飼えなくなり放置したことによって逮捕された事例もある。</p> <p>(１) 飼い主に適正飼育の徹底を求める広報が必要では。</p> <p>国では、財務大臣が動物譲渡や愛護団体、保護犬・保護猫に対する予算措置も考えていく方向性を示している。加齢や引っ越しなど事情があり飼えなくなった飼い主が犬を放置することがないようにするべきである。</p> <p>(２) 犬を手放す人と犬を飼いたい人や愛護団体をつなぐ「里親づくり」をリスト化するなど、関係を整理できる体制を構築してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 子ども図書館について</p> <p>「ガレリアかめおか」施設内の「子ども図書館」のリニューアルを考えるに、「みんなの森ぎふメディアコスモス」や「都城市立図書館」を例にされてはどうかと考える。</p> <p>(1) 京都府の子育て環境日本一の実現に向けた取組「泣いてもかましまへん」にあやかって「泣いてもいい子ども図書館」に取り組んで「ガレリアあそびの森」と子育て支援の相乗効果を図っては。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>4 全国都市緑化フェアの成功について</p> <p>「全国都市緑化フェア in 京都丹波」を成功に導くには思うことがある。JR亀岡駅の自由通路の壁面に緑化フェアの機運醸成に向けて犬甘野そばのイラストが掲出されているが、犬甘野そばのキッチンカーは排水の問題等で出店依頼がないと犬甘野そばの関係者は嘆かれています。</p> <p>(1) 緑化フェアの会場にキッチンカーが出店できるような体制を整備する考えは。</p> <p>緑化フェア開催は来年9月18日からであり、同時期に見頃を迎えるコスモス園は景観によいが、国道372号を境に南側農地は耕作放棄地等が点在し緑化フェアのイメージが損なわれるのではと考える。</p> <p>(2) 耕作放棄地が目立つコスモス園南側の景観をどのように考えているのか。</p> <p>JR亀岡駅や京都・亀岡保津川公園と亀岡運動公園間をシャトルバスが運行されると、市役所前の府道403号亀岡停車場線の交通停滞が心配される。</p> <p>(3) 市役所前の府道403号亀岡停車場線を拡幅する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 ALTの有効活用について</p> <p>このたび、フィリピンからALT（外国語指導助手）を多数採用されるが、将来世界で活躍する人材を本市から輩出するために必要な取組であり、積極的に採用するべきと考える。</p> <p>(1) 中学校において、「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ」を基軸とした特認校を選択できる制度を導入する考えは。</p>	<p>市長 教育長 教育委員長</p>
		<p>6 地域の安全安心について</p> <p>曾我部町学ヶ丘区は土砂災害に見舞われた経験があり、台風や大雨に敏感である。しかし、避難所である公民館は区民を収容するには狭小で機能を果たせないのは確かである。</p> <p>(1) 区民の安全安心のための市としての解決策は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
9	<p>竹内 博士 12月10日(水) 13:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市主催イベントの効果測定について</p> <p>今年は市制70周年の節目の年にあたり、昨年から今年にかけて市主催のイベント数が増加している。来年には全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催も控えている中、イベントの在り方と広報、効果測定について問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>(1) イベント数が増え、毎週末のように市内にはにぎわいを見せて充実している一方で、「イベントが多すぎてどこに行けばいいか迷う」「来場者や出店者が取り合い状態になっている」などの声も聞く。現状や課題を市はどのように分析しているのか。</p> <p>(2) 市民からは「情報が手に入りづらい」「情報が多すぎて迷う」「イベントのことを知らなかった」などの声もあり、広報面にも課題を感じるが所見は。</p> <p>(3) イベントの経済波及効果などの調査（来場者アンケート）は必ず実施しているのか、または任意か。</p> <p>(4) アンケートを実施している場合、調査の具体的な方法や設問（項目）はどのように決めているのか。</p> <p>(5) 「交流人口」や「関係人口」を増やすことの必要性が叫ばれているが、具体的な調査の実態は。</p> <p>(6) 今後、マーケティングやシティプロモーションの観点も入れた、統計に基づいたアンケートフォーマットを作り、全イベントに共通で使用し、戦略的にデータ収集すべきとを感じるが所見は。</p> <p>(7) 現在、イベントごとに広報予算がついていない。今後、効果測定を含めた「広報・分析経費」をイベントごとにつけるのはどうか。</p> <p>(8) イベント数が増えてくると職員の働き方（勤務体制、勤務状況）への影響が懸念される。パソコンが18時までしか使えない定時退庁日（かえるDAY）などもあるが、現場は機能しているのか、また、現状においてスクラップ・アンド・ビルドの考え方はどのように反映されているのか。</p>	
	2 森林整備事業の促進と組織体制について	<p>土砂災害の防止や有害鳥獣対策の観点からも森林整備事業は今後ますます必要性が高くなる。去る11月12日に行われた亀岡市林業振興協議会の視察に参加し、愛知県岡崎市の取組について学んだ。20代から40代の若い世代が森林整備事業に携わるなど、若返りと世代交代を課題とし、組織体制の強化と戦略的な若い人へのアプローチが目立っていた。本市における森林整備事業の促進と組織体制について問う。</p> <p>(1) 本市の森林担当職員は何人か。</p> <p>(2) 岡崎市では地域商社「もりまち」を立ち上げ、新しい木材商品の開発や販路拡大に向けた取組を進めるなど、林業の6次産業化を図り、森林整備を促進している。さらに、木材の流通体制を確立し、移住者増加や担い手確保につなげるなど、関係人口の</p>	市長 所管部長

		3 小規模特認校について	<p>増加を目指した取組が目立ったが、本市でも「環境先進都市」や「オーガニックビレッジ宣言」の切り口から参考にできないか。</p> <p>(3) 全国都市緑化フェア in 京都丹波終了後の職員の再配置において、山林活動に若い市民を取り込んだプラットフォームづくりに着手するべきであると思うが所見は。</p> <p>本市では、東別院小学校、西別院小学校、保津小学校の3校を小規模特認校に指定し、地域と連携した様々な体験活動などを行っているが、現状や課題について問う。</p> <p>(1) 小規模特認校3校における、来年度の地元校区の入学予定者数は。</p> <p>(2) 校区外からの入学者獲得が求められるが、現在、募集においてどのような広報をしているのか、またその効果は。</p> <p>(3) 実際に子どもを通わせている中で、「小規模特認校は不登校の子どもが行く学校でしょ？」という声をたびたび聞いてきた。誤解されている側面もあるように感じるが所見は。</p> <p>(4) 東・西別院町においては、入学希望者が通学バスのピックアップ場所によって入学を諦められるケースもこれまで見てきた。ピックアップ場所に柔軟性を持たせることで入学者増につながると思うが可能性は。</p>	市長 教育長 所管部長
10	<p>木村 勲 12月10日(水) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国道9号ダブルルート化と渋滞緩和について</p> <p>2 国道423号バイパスルートの進捗について</p>	<p>先般、11月24日に亀岡経済同友会主催の「あすの亀岡・“みち”を考えるシンポジウム」が開催された。今後の要望と方向性について問う。</p> <p>(1) 現状の京都丹波基幹交通整備協議会の要望活動内容は。</p> <p>(2) 今回のシンポジウムで市長からルートについて「方針転換する」との説明があったが協議会の要望についても新たな要望内容に変更するという認識でよいか。</p> <p>(3) 亀岡側と京都側の具体的なルートは。</p> <p>(4) 事業化してから完成までの期間は。</p> <p>(5) 京都縦貫自動車道の篠インターから沓掛インター間の料金減額は要望内容にあるのか。</p> <p>国道423号のバイパス工事が進んでいないように思うが、今後の予定について問う。</p> <p>(1) 今年度の予算額はいくらか。</p> <p>(2) 一部開通しているが、今後の開通の見通しは。</p> <p>(3) 一部では用地買収が難航していると聞くと進捗状況は。</p> <p>(4) 全線開通はいつ頃になるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 並河亀岡停車場線の交通安全対策について</p> <p>4 熊出没の被害と有害鳥獣対策について</p>	<p>(5) 頂上付近に霧のテラスのような展望デッキを建設する予定はあるのか。</p> <p>都市計画道路並河亀岡停車場線について、大井町並河前脇から大井町並河坂井までの約400メートル区間の第2工区は、今年度中の完成予定であるが、進捗と安全対策について問う。</p> <p>(1) フレッシュバザール亀岡大井店から国道9号までの信号機の設置場所は決定されたのか。</p> <p>(2) 信号機が設置されない場所への対策は。</p> <p>(3) 現在、横断歩道が1箇所あるが増設される場所は決定されたのか。</p> <p>(4) 通学路の安全対策はなされているのか。</p> <p>(5) 来年3月には完成するのか。</p> <p>今年は、全国で熊が住宅地に出没し、被害が出ており、本市でも出没の報告がある。被害の現状と対策について問う。</p> <p>(1) 本市が把握している熊の出没件数と被害状況は。</p> <p>(2) 熊出没の報告があった場合の本市と警察署、猟友会との連携体制は。</p> <p>(3) 熊出没の報告地域の登下校や行事に対する対策は。</p> <p>(4) 出没した地域や出没が予想される地域のハザードマップ作成の予定は。</p> <p>(5) 有害鳥獣駆除のための柵設置に対する補助は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
11	<p>三上 泉 12月10日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ルールメイキングを取り入れた教育について</p>	<p>令和7年6月議会で紹介した、「ルールメイキング」の先進的な実践を、市長や教育長も視聴して把握していると思うが、子どもファーストを宣言し、亀岡市子どもの権利条例（平成30年12月議会可決、平成31年4月施行）を制定している本市の学校教育に取り入れることは大変有効であるとする。</p> <p>(1) 泉大津市立小津中学校の実践について</p> <p>① 特に印象に残ったことや評価すべき点など、教育長の所見は。</p> <p>② 本市学校教育においても、可能な分野から取り入れるべきではないか。</p> <p>(2) 子どもの権利条例の具体化については、こども未来部が所管となって、子どもの権利擁護の観点からの施策を皮切りに進められているが、教育部が所管するところの学校教育や社会教育での具体化を進めることへの所見は。</p> <p>(3) 令和3年に発行された「子どもの権利」に関するリーフレットは、その後増刷されずに児童生徒には配布されていないと思うが、現在に合うようなマイナーチェンジを加えてデータ化し、児童生徒及び教員のタ</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>



		<p>ブレットに格納して、随時指導に生かせるようにしてはどうか。</p> <p>(4) 子どもファーストを宣言している本市が、子どもを権利の主体者ととらえて、子どもが主役となり意見表明や活動を行うイベントや場の設定について、市長の所見は。</p>	
	2 緊急銃猟など新たな鳥獣被害対策について	<p>今年9月に「鳥獣保護管理法」が改正され、熊やイノシシが人の生活圏に侵入し、人への危害が差し迫っている状況で、市町村長が安全確保措置を講じた上で、ハンターに銃器で捕獲を委託できる制度が始まっている。先月には、京都府内で初めてとなる、熊の緊急銃猟の机上訓練が福知山市で行われた。市長が緊急銃猟の要件を満たすと判断し、猟友会に駆除を委託したという想定で行われている。緊急銃猟については、京都府が指針を定めていない現時点で本市としても状況を見極めているという段階なのかと察するが、差し迫った緊急課題ともいえる。</p> <p>(1) 緊急銃猟に対する本市の考え方と現時点での対応策は。</p> <p>(2) 速やかな情報収集と緊急事態への対応などについて、関係機関との連携はスムーズに図れるようになっているのか。</p>	市長 所管部長
	3 地域公共交通の課題解決にむけて	<p>これまでから、本議会でも、住民の移動する権利は、生存権の一部といっても過言ではないと訴えてきた。移動権を保障する立場で、本市将来のまちづくりビジョンを構築する必要があると考える。直近に必要な建設施設等の整備を進めつつ、さらなる高齢化に対応するまち、ユニバーサルデザインの都市整備、脱炭素・脱車社会のための道路・交通の整備を画策すべきである。地域主体型交通など、移動権の確保における地域住民や自治会の協力は大切ではあるが、地域に依存するだけでなく、持続可能な交通手段となるよう、市の積極的関与は必要である。また、地域公共交通を担っているＪＲ西日本や京阪京都交通をはじめとする関係機関・事業者との連携による、新たな課題解決に向けたシステムの構築が求められている。</p> <p>(1) ＪＲ嵯峨野線亀岡駅以北方面列車の減便の解消、全駅でのＩＣＯＣＡ対応可能改札の整備など、市民の利用の利便性向上に向けた要望をされていると承知しているが、改善の見込みはあるのか。</p> <p>(2) 本市三大観光の一つとされる嵯峨野鉄道トロック列車亀岡駅へのＪＲ馬堀駅からの道案内の充実や、ＪＲ馬堀駅改札内トイレの洋式化について、本市で何かできることはないのか。</p>	市長 所管部長

			<p>(3) 本年度予算化されている、ＪＲ亀岡駅北側の駐輪場の屋根修復や、ＪＲ馬堀駅市営駐輪場の精算機の更新などは年度内に完結するのか。</p> <p>(4) 公共交通空白地での地域主体型交通について、運用が可能な地域にはその道を探りつつも、全ての地域の移動権保障のために、将来的には市直営で小型車によるデマンド無償交通などを検討できないか。</p> <p>(5) 安全・安心な移動のための遊歩道の整備、住民の移動と観光政策・環境政策をタイアップさせた自転車専用道路の整備などを長期的なまちづくり計画で重視してはどうか。</p> <p>(6) ガレリアかめおかやその周辺に施設が集約される動きの中で、市役所やガレリアかめおかまで安心して往復できる交通手段は最優先で整備すべきである。住民要望が根強くあるこの課題は優先的に解決すべきではないか。</p>	
12	<p>山本由美子 12月11日(木) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 乳がん検診について</p> <p>2 災害用井戸登録制度の導入について</p>	<p>乳がんは日本人女性の9人に1人が罹患し、女性が罹患するがんでも多いがんである。国内では、毎年約10万人が新たに乳がんと診断され、罹患率は増加傾向にある。しかし、早期発見・早期治療により高い確率で治癒が期待できるがんであることから、予防と検診の受診促進が極めて重要である。</p> <p>(1) 本市の乳がん検診の受診率とがん発見数の推移は。</p> <p>(2) 乳がん検診の無料クーポンの利用状況は。</p> <p>(3) 対象者への個別受診勧奨と未受診者への再勧奨（コール・リコール）の実施状況と効果は。</p> <p>(4) 高濃度乳房の方への通知について本市の現状と今後の考えは。</p> <p>(5) 乳がん検診にマンモグラフィと併用して超音波検査（エコー検査）を導入することについて見解は。</p> <p>(6) 検診対象年齢を引き下げ、30代への超音波検査（エコー検査）を導入することについて見解は。</p> <p>(7) ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の普及・啓発の取組は。</p> <p>(8) 無痛MRI乳がん検診（ドゥイブス・サーチ）に対する認識と亀岡市立病院において無痛MRI乳がん検診（ドゥイブス・サーチ）導入についての考えは。</p> <p>令和6年能登半島地震では、上下水道が大きな被害を受け、長期にわたって断水が継続したことに伴い、生活用水の確保が課題となった。</p>	<p>市長 病院事業管理者 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 水道未普及地域における補助金制度について</p>	<p>そのような中、被災した一部地域においては、住民の声かけなどにより、井戸水や湧水が自発的に開放され生活用水に活用されるなど、災害時の代替水源としての重要性が改めて認識されている。</p> <p>(1) 災害用井戸の必要性について見解は。</p> <p>(2) 災害発生時に飲用水及び生活用水において、公助によりどの程度確保されているのか。</p> <p>(3) 本市が実施した「災害時における井戸の活用に関する調査」の結果及び今後の活用や運用についての考えは。</p> <p>(4) 災害用井戸登録制度の導入や災害用井戸を新たに整備する考えは。</p> <p>水道未普及地域における飲用水の安定確保を支援するための「家庭用取水施設等整備事業費補助金制度」が本市で2012年度に創設され13年が経過し、この間、住民の安心につながっている。</p> <p>(1) 補助対象者となる個人、共同利用の代表者数は。</p> <p>(2) 個人、共同利用の施設への補助金交付の実績は。</p> <p>(3) 亀岡市家庭用取水施設等整備事業費補助金交付要綱により定められた補助対象経費(8項目の工事費用など)に対する補助金額と10年ルールのかんがえ方は。</p> <p>(4) 水道未普及地域における飲用水の安定確保を支援するための補助金制度をより利用しやすいように改善できないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
13	<p>菱田 光紀 12月11日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>過日、亀岡経済同友会主催、亀岡市共催の事業「あすの亀岡・“みち”をかんがえるシンポジウム」が開催された。</p> <p>(1) この中で市民・経済界・行政が一体となって国道9号老ノ坂峠のバイパス化を進めていこうと確認されたと認識しているが、今まで行ってきたダブルルート化や老ノ坂部分の4車線化の要望が具体的にトンネルによるバイパス化に統一されたと認識すればよいのか。</p> <p>(2) 2市1町で構成される京都丹波基幹交通整備協議会での議論はどのようなになるのか。</p> <p>(3) 事業実施に向けて、亀岡市民・経済界・行政が一体となって国道9号老ノ坂峠のバイパス化を進めていくための組織づくりが必要であるのかをかんがえるがどうか。</p> <p>(4) 事業実施に向けての今後の進め方や手続はどのようなになるのか。</p> <p>市制70周年を記念して本年10月1日に市の草花とともに市の鳥としてコウノトリとイカ</p>	<p>市長</p>

		<p>2 癒やしの空間づくりについて</p> <p>3 災害時の避難所運営について</p>	<p>ルチドリが制定されている。</p> <p>(5) それぞれの制定理由は。</p> <p>(6) 本市の環境に配慮した農業を推進するうえで、亀岡市内でほとんど見かけることができないコウノトリを守るために今後どのような取組が必要だと考えるのか。</p> <p>(7) それを実現可能なものにするために市民や農業者に何ができるのか。</p> <p>(8) そのための行政の役割は。</p> <p>本市は、ウクライナ西部の都市トルスカヴェーツ市との友好を記念してシンポジウムなどを開催している。</p> <p>(1) トルスカヴェーツ市との今後の交流予定は。</p> <p>(2) トルスカヴェーツ市は、亀岡市との共通点が多くあると聞くがどのようなところか。</p> <p>(3) トルスカヴェーツ市は、ロシアからの侵略によって傷ついた人たちの野戦病院的な機能を果たしている都市だと聞いたことがある。自然豊かで温泉もある本市は、都市の生活で疲れた人たちを受け入れ、癒やしの場になればと思うが所見は。</p> <p>(4) そのことが「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」として別の意味で環境を発信することになると考えるが所見は。</p> <p>(5) そのために本市として取り組めることはどのようなことなのか。</p> <p>今議会に「かめおか防災広場設置条例案」が提案されている。</p> <p>(1) この条例案の趣旨は。</p> <p>(2) 災害発生時の運営主体は。</p> <p>(3) 近年、ペットと同行できる避難所づくりが課題になっていると聞くが、その点の配慮はなされるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>浅田 晴彦 12月11日(木) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	1 川東保育所の整備について	<p>亀岡市立川東保育所移転整備に向けての説明会が令和7年8月29日に、馬路町自治会館で実施された。そこで、令和8年度年に園舎建設基本設計等を実施予定と説明があった。また、周辺環境整備と合わせた事業の円滑な進展に必要な事項について協議、調整を行うための組織を設置するとのことであった。</p> <p>(1) 川東保育所移転整備に係る検討委員会の設置はいつか。</p> <p>(2) 検討委員会の委員は何人くらいを想定されているのか。</p> <p>(3) 川東保育所移転整備と安全で安心な道路整備は、同時期に並行して整備が進むのか。</p>	市長 所管部長

		<p>2 本市内のガードレールについて</p> <p>3 亀岡市内の井戸について</p> <p>4 小学校の平和学習について</p> <p>5 七谷川野外活動センターについて</p> <p>6 本市内の猿対策について</p>	<p>今年、本市内において小学生と保護者がサイクリング中にガードレールの端が折れ曲がったことにより隙間が大きくなり、約数メートル下へ落下されるという大変大きな事故があった。 (1) 本市内の破損箇所を自治会や市民に情報収集調査を行い、重点箇所から修繕してはどうか。</p> <p>現在、井戸をお持ちの個人、団体に対し、井戸の使用状況などについての調査を総務部自治防災課において、行った。 (1) 井戸の数等、どのような結果であったか。 (2) 井戸の活用や必要性について、どのように考えているのか。 (3) 今後、災害時に水を確保する手段として、新たに井戸を掘りたいと要望があった場合に、補助金を交付する施策等を考えていくべきではないか。</p> <p>毎年、小学6年生は平和学習の校外授業として広島県へ修学旅行に行っている。 (1) 広島県に行く前に高学年を中心に漫画「はだしのゲン」を読む機会を積極的に進めてはどうか。</p> <p>七谷川野外活動センターは本市内外から多くの方々が訪れ、アウトドアも体験できる施設として認知度も上がってきている。その中に設置されている遊具について老朽化が進み、今後、使用できなくなる可能性がある。そこで遊具の維持管理について問う。 (1) 現在、使用されている遊具のうち、老朽化による改修工事等の予定はどのようなものか。</p> <p>今年度の地域懇談会で猿による作物への被害について多く情報が寄せられた。これまで地域住民が、積極的に駆除や動物駆逐用煙火方式による追い払いをされている。このような猿対策を本市内の関係地域に広げていく施策が必要であると考え。 (1) 今後も、動物駆逐用煙火方式の保安講習を実施し、追い払い対応する協力員を増やしてはどうか。 (2) 動物駆逐用煙火方式の空砲弾は、1本700円程度であり、負担額が大きい。本市で負担し、協力員が積極的に活動しやすい環境をつくってはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	土岐 新 12月11日(木) 13:45~	1 亀岡市災害協定について	<p>本市ではこれまで、「亀岡市地域防災計画」に基づき、災害時における市民の救援活動及び災害復旧活動を円滑に実施することを目的に様々な</p>	市長 所管部長

	※一問一答		<p>分野において協定を締結しているが、より市民にとっていち早く安全・安心を確保するために問う。</p> <p>(1) 主にライフライン・道路・建物の復旧作業に臨む際、誰が指揮を執ることになっているのか。</p> <p>(2) 大きな災害が起きた場合、重機や機械は確保できるのか。</p> <p>(3) 亀岡市内の業者のみで復旧作業ができない場合、亀岡市外の業者は集まるのか。</p> <p>(4) 本市の状況を鑑みると、より早く復旧工事が進むためにスーパーゼネコンと協定を締結しておく必要があると考えるが、所見は。</p>	
		2 JR並河駅ロータリー内の安全確保について	<p>現在JR並河駅ロータリー内では、右折、左折、直進と進行できるが、決められたレーンが無く、二台が平行している現状である。両側から同時に直進に向かう時があり危険である。</p> <p>(1) 正式な道路標示を公安委員会と協議の上設置していただきたいが考えは。</p> <p>(2) ロータリー内は市道の為、事前に公安委員会と協議は必要であるが、誘導線を設置することは可能だと思うが、設置できないか。</p>	市長 所管部長
		3 亀岡ICの入口・出口について	<p>亀岡ICの入口・出口について問う。</p> <p>(1) 亀岡ICの入口・出口に、より目立つ大きな標識を設置できないか。</p>	市長 所管部長
		4 京都縦貫自動車道の高架下について	<p>京都縦貫自動車道の高架下の有効活用について提案も含めて問う。</p> <p>(1) 本市では高架下を現在活用しているのか。</p> <p>(2) 高架下の活用が可能な場合、使用目的の内容は。</p> <p>(3) 公園・駐車場・店舗などを設置し、本市の取組の幅を広げる考えは。</p>	市長 所管部長
		5 教育について	<p>9月議会の一般質問で質問した学校の校則の見直しの考えについて、教育長から学校間でも情報を共有しながら、見直しの取組を進めていきたい旨の答弁があったので、現状を問う。</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>小・中学校の学校区について5年後先を考えると学校区についても今から調査し、検討をしていく時代になっていると考えるため問う。</p> <p>(2) 市内の学校に限定し、学校を選択できる条件を拡充する考えは。</p> <p>(3) 中学校では現代においても学校区は必須だと考えるのか。</p> <p>(4) 5年後先を見据え部活動の地域連携や地域移行等も鑑み、見直す必要があると思うが今後調査・検討する考えは。</p>	教育長

		6 大阪・関西万博全校校外学習について	<p>大阪・関西万博に校外学習として小学1年生から中学3年生まで全員参加できる取組を実施された。保護者・学校からは不安の声も上がっていたが、校外学習が終わるたびに喜びの声が大きくなったと感じた。実際に校外学習を終えて、どのような結果になったかを問う。</p> <p>(1) 小学校低学年が参加するのは、大きな不安があったと思うが、実際どうであったか。</p> <p>(2) バス停から現地までが遠く、特に低学年が歩くことができるのかと心配の声があったが、どうであったか。</p> <p>(3) 熱中症・お弁当の課題があったが、どうであったか。</p> <p>(4) 校外学習後に児童からの感想等を取りまとめた結果は、教育委員会として、全校校外学習を実施して良かったと思える結果になったか。</p>	教育長 所管部長
16	<p>山木 裕也 12月11日(木) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市観光振興ビジョンについて</p> <p>2 丹波国分寺跡と河原林の歴史資源について</p>	<p>本市の観光を取り巻く環境は、インバウンド需要の拡大やDX化の進展など、近年大きく変化している。このような中で、亀岡市が持つ固有の強みを生かし、地域全体の回遊性を高めるとともに、歴史・文化資源をさらに磨き上げることが求められている。</p> <p>(1) 観光客数、滞在時間、インバウンド比率、主要観光地の入込数など最新の状況はどうか。</p> <p>(2) 亀岡市観光振興ビジョンを進めるために、現状でどのような課題があると認識しているのか。</p> <p>(3) この度、国の文化審議会が文部科学大臣に対し、嵯峨野トロッコ列車の橋梁や隧道など18基を国登録有形文化財（建造物）として登録するよう答申した。そのうち12基が亀岡市内にある。明治期の土木技術と保津峡の景観が生み出した貴重な資源であるが、これらの文化財的価値を今後の観光振興にどのように生かすのか。</p> <p>(4) トロッコ亀岡駅から観光案内所へ向かう際に通過する歩道トンネルを「トロッコ列車トンネル」として整備し、今回申請された文化財の写真を展示するなど、観光案内機能をもたせてはどうか。</p> <p>丹波国分寺跡は、本市の歴史を象徴する文化資源であり、河原林地域の寺院や尼寺と連携し、歴史文化ゾーンとして形成することは教育的な視点から1つの選択肢であると考え。また、国分寺の由来や歴史は、亀岡市の基礎文化であるにもかかわらず、市内小・中学生が学ぶ機会が十分ではない。デジタルを活用した教育的取組も含め、次の点について問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 歩車分離信号の導入について</p> <p>4 亀岡市いきいき健幸ポイント制度について</p>	<p>(1) 現状の史跡整備計画の進捗状況及び予算の執行状況は。</p> <p>(2) 文化財の保存及び活用を行う上で課題となることは。</p> <p>(3) 来年度に開催される全国都市緑化フェア in 京都・丹波に向け、亀岡市として本史跡の位置づけや価値を対外的に広く示すべきだと考えるがどうか。</p> <p>(4) AR・VRを活用した小・中学生向け国分寺学習の導入、河原林地域の寺院・尼寺との連携による史跡教育の充実、バルーンによる上空からの展望など、新たな学習手法についての考えは。</p> <p>市道中矢田篠線と市道つつじヶ丘56号線の交差点は通学路であり、特に朝夕の時間帯は交通量が多く、歩車の交錯による危険が日常的に指摘されている。市民の安全確保を最優先に考え、以下の点について問う。</p> <p>(1) この地点における歩行者数、車両通行量、事故発生件数、ヒヤリハットの件数は。</p> <p>(2) 当該交差点における歩車同時進行の信号機について、市はどのように認識しているのか。</p> <p>(3) 歩車分離信号導入に向けた警察との協議の状況と市の考えはどうか。</p> <p>(4) 当該交差点に接続する、西向きの市道中矢田篠線について、道路の破損が目立っているが整備計画はあるのか。</p> <p>この制度は65歳以上を対象として、スマホもしくはパソコン連携方式のみで運用されている。紙スタンプ方式ではなく、団体による代理付与も不可であるため、スマホ及びパソコンを使用できない高齢者が参加しづらい現状がある。制度の目的である健康増進の裾野拡大の観点から、以下について問う。</p> <p>(1) 利用者数、年代別参加率(65歳～69歳、70代、80代以上)、ポイントの交換実績は。</p> <p>(2) スマホもしくはパソコン連携方式に限定することによって、参加が困難になっている市民がいることを市はどのように認識しているのか。</p> <p>(3) 紙スタンプ方式の併用や、団体による代理登録・代理付与を可能とする制度の拡充を検討しているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	<p>大西 陽春 12月11日(木) 15:30～</p> <p>※一問一答</p>	1 国民健康保険事業について	<p>国民健康保険料は2年連続で引上げとなり、市民からも「払える国保料に」との要望が強い。国保料の引下げは喫緊の課題である。</p> <p>(1) 本市の国民健康保険料を決めるのはどこか。</p>	市長 所管部長



		<p>(2) 今後、本市の国保特別会計の運営が大変になると予測されるが、来年度の国保料率の見通しは。</p> <p>(3) 料率の据置きをするために基金充当だけでは足りない分を法定外繰入すれば、国の交付金の減額はいくらになるか。</p> <p>(4) 未就学児の均等割の5割軽減を18歳終了までに拡充すれば、いくら必要か。</p>	
	2 高齢者の生活を支える施策について	<p>本市でも高齢者が増えているが、健康で生き生きと暮らせるために様々な施策が行われている。特に健康寿命を伸ばし、社会参加ができることがこれからの高齢者の生活を豊かにするうえで大切になってくる。以下の施策について問う。</p> <p>(1) 第10期亀岡市介護保険事業計画「亀岡市いきいき長寿プラン」作成に向けて「亀岡市高齢者等実態調査」は、いつ、どのようにして行うのか。</p> <p>(2) 「聞こえ」に関する項目は、どのように入れるのか。</p> <p>(3) 補聴器購入に対する補助制度を市独自で早急に実施すべきと考えるが所見は。</p> <p>(4) 高齢者福祉サービスの「寝具洗濯乾燥消毒サービス」の利用状況が低いが、利用しやすくする方法を検討すべきでは。</p>	市長 所管部長
	3 带状疱疹ワクチンについて	<p>自治体による自己負担額の相違が問題になっている。</p> <p>(1) 本市の負担額設定の根拠は。</p> <p>(2) 市内医療機関で、南丹市民と亀岡市民の負担額の差に、市民からの疑問の声がある。南丹市並に負担を軽減すべきでは。</p>	市長 所管部長
	4 交通安全に配慮したまちづくりについて	<p>近年新しい住宅地が増えている。また、本市内を通行する自家用車の数も増えている。市道の整備はどのように進められているのか、以下の点について質問する。</p> <p>(1) 新しく住宅地ができた場合や住民からの要望があった場合にカーブミラーの設置は、どのようにしているのか。</p> <p>(2) 市道のパトロールにより、中央線や横断歩道、一旦停止の表示が不十分だと確認された場合、どのように修繕を行っているのか。</p>	市長 所管部長
	5 学校給食について	<p>令和10年度を目標にして計画が進められている中学校給食については保護者からの期待が寄せられている。「早く実施して欲しい。」「温かくて栄養のある、おいしい給食」「地産池消の食材の利用」「食育の充実のために栄養教諭の配置の充実」が求められると考える。</p>	市長 所管部長 教育長

			<p>(1) 給食についての市民からの声は届けられているのか。</p> <p>(2) 1 か所で共同調理する給食センターになっても、全ての小・中・義務教育学校に調理終了から喫食迄に2時間以内で配食が可能であるか。</p> <p>(3) 新センターの施設整備や運営について民間企業が参画する公民連携方式（PPP）を活用することについて質問する。</p> <p>①提供サービスの質の低下は心配ないか。</p> <p>②多様なニーズへの対応が可能であるか。</p> <p>③管理や監督の不足は起こらないか。</p> <p>(4) 義務教育学校「育親学園」でのオーガニック給食提供の全体像は。</p> <p>(5) 市長の理想とする学校給食と亀岡市全体のこれから実施される学校給食は合致するのか。</p>	
18	<p>富谷加都子 12月12日(金) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	1 地域公共交通について	<p>人口減少を背景に、自家用車の普及でバスの利用が減り、運転手の担い手不足が深刻化している。しかし、地域公共交通は、市民の豊かな暮らしの実現や地域の経済活動に不可欠な社会基盤であり、その維持・確保は地域の活性化に大きく寄与する。地域公共交通の再構築が必要である。</p> <p>(1) 市として、地域公共交通の運行に対して、市民の不安をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金について、補助金交付対象とならず自主財源や募金に頼る団体は、持続可能性について常に不安を抱えている。市の補助金が交付されている団体との間で、運営基盤の安定性に格差が生じ、結果住民サービスに差が出る恐れがある。既存の重点的な補助は維持しつつも、自主運営団体に対して、公共的サービスの貢献支援策を講じるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 亀岡市コミュニティバス及び亀岡市ふるさとバスの運行にかかる年間の赤字補填額は。</p> <p>(4) 亀岡市地域公共交通計画に、亀岡市ふるさとバスをデマンド交通や他輸送手段等を検討と明記する中、仮に亀岡市ふるさとバス路線廃止によって浮いた経費を、公共ライドシェア導入に充当した場合、財政的な積算をどのように見込んでいるのか。</p> <p>(5) 仮に亀岡市ふるさとバスの赤字路線を一部廃止してデマンド交通と公共ライドシェア導入に踏み切った場合、自治体として定義する「費用対効果」の評価基準とは。</p> <p>(6) 亀岡市ふるさとバスの代替えとして公共ライドシェアを成功させる上で、運転手確</p>	市長 所管部長

		<p>2 疥癬について</p> <p>3 経済対策について</p>	<p>保は最大の課題である。人材確保に関する具体的な計画はあるのか。</p> <p>(7) 地域公共交通施策の位置づけとしては、福祉と移動を不可分なものとして捉え、地域包括ケアシステムを土台とした取組を期待する。今後、「福祉と移動がセット」という考え方を施策にどう反映させていくのか。</p> <p>令和7年10月初旬以降、南丹管内の高齢者施設・障害者施設・ディサービスにおいて、疥癬の集団感染が報告されている。</p> <p>(1) 亀岡市内の各事業所において、疥癬の発生状況は。</p> <p>(2) 疥癬に対する市の認識は。</p> <p>(3) 疥癬患者対応への感染予防支援として、介護職員が使用する個人防護品(手袋・マスク・使い捨てエプロン・ガウン)等の優先配布や購入費用一部補助をする考えはあるか。</p> <p>政府が閣議決定した総合経済対策において、重点支援地方交付金の拡充が正式に盛り込まれた。市が、地域の実情に応じて柔軟に使い道を決められる特徴があり、市民の暮らしに直結した、より幅広い層への支援策を期待する。</p> <p>(1) 従前の市独自の経済対策支援における効果、課題等の評価は。</p> <p>(2) 今回の重点支援地方交付金の額とのうち、地域の実状に応じた物価高騰対策(推奨事業メニュー)において、最も重点を置く分野や対象者は。</p> <p>(3) 医療・介護・保健施設や農林業者等、地域生活を支える特定の分野の事業者への支援策はあるか。</p> <p>(4) 子育て世帯に対する具体的な支援策として、前回同様学校給食等の補助は計画されているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
19	<p>大石 慶明 12月12日(金) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 市職員の心身健康維持について	<p>市職員が明るく、丁寧に市民対応することは市民サービスの向上に不可欠であり、これを実現するためにも市職員が心身とも健康であることが必須と考える。そこで市職員の健康管理及び働き方改革の取組について問う。</p> <p>(1) カスハラ防止施策として「亀岡市不当要求行為等対策条例」を制定するとともに職員の名札の表記方法の変更、電話受付対応時の録音機能の付与等の取組を実施してきた。</p> <p>①不当要求行為の発生状況は。</p> <p>②名札の表記方法の変更、録音機能付与等に伴う効果は。</p>	市長 所管部長

		<p>(2) 今年10月から市民課の開庁時間を変更した。</p> <p>①変更したことに対する市民の声は。</p> <p>②変更したことによる効果は。</p> <p>③試行期間の状況等を検証し、令和8年度より対象部署を拡大する予定としているが、その拡大対象範囲は本庁内の各部署及び本庁外の各部署、病院等まで含む考えなのか。</p> <p>④対象部署を拡大するに当たり、部署により開庁時間帯は区々とするのか。</p> <p>(3) 時間外労働の実態について問う。</p> <p>①過去3年間における時間外労働の実態は。</p> <p>②恒常的に時間外労働が発生している部署は。</p> <p>③時間外労働が発生している要因及び解消に向けた取組は。</p> <p>(4) 心身のストレス等による相談件数及び休職件数の増減状況は。</p>	
	2 さらなる観光施策について	<p>本市は今年8月、茨木市との広域観光連携の協定を締結したことは、素晴らしいと考えている。そこで観光事業のさらなる活性化に向けた取組について問う。</p> <p>(1) 茨木市との広域観光連携協定を締結したことにより、期待できる効果は。</p> <p>(2) 茨木市、大阪方面からのアクセスの容易さが本市及び茨木市の観光事業の活性化に不可欠と考えるが、アクセス面の整備計画は。</p> <p>(3) 湯の花温泉の活性化に向けた検討会が開始したと聞くと聞くと、現在までの検討状況及び今後のスケジュールは。</p>	市長 所管部長
	3 不登校対策について	<p>2024年度の小・中学生の不登校児童生徒が35万人を超え過去最高となっている。本市においても児童生徒及び保護者に寄り添ったさらなる対策が必要と考える。そこでこれらの対策について問う。</p> <p>(1) 過去3年間における小・中学生の不登校数の推移は。</p> <p>(2) 過去3年間における小・中学生のいじめ認知数の推移は。</p> <p>(3) 不登校と言っても軽度から重度に至るまで様々だと思うが、それぞれのレベルにおける主要な要因は。</p> <p>(4) 通学児童生徒と不登校児童生徒に対する教育の在り方は。</p> <p>(5) 学習意欲のある不登校児童生徒にとって気軽に学べる選択肢を増加させることが重要であるとする。</p>	市長 教育長 所管部長

			<p>①本市におけるフリースクールの数は。また、フリースクールを利用する児童生徒数は。</p> <p>②身近で通える居場所づくりを行う予定は。</p> <p>③居場所づくりの実施に当たり、人材確保の状況は。</p> <p>④オンラインによる学習機会をさらに充実させる考えは。</p>	
20	<p>松山 雅行 12月12日(金) 13:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 地域図書館の設置について</p> <p>2 部活動の地域展開について</p> <p>3 北陸新幹線新大阪延伸計画について</p>	<p>令和7年3月議会で立地適正化計画に基づく地域図書館などの設置やＪＲ千代川駅前の自転車駐輪場の空きスペースの活用についての答弁があった。その後の検討状況と今後の策を問う。</p> <p>(1) 地域図書館などの設置における検討状況は。</p> <p>(2) ＪＲ千代川駅最寄りの地域図書館は、川東地域図書館であるが、利用状況はどうか。</p> <p>(3) 図書機能のみならず、広域でかつ多世代交流の場をつくる観点からも子育て支援の中核施設となるようなキッズステーションをＪＲ千代川駅周辺に整備する意義はあると考えるが所見は。</p> <p>(4) ＪＲ千代川駅への返却ボックスを時限的に設置できないか。</p> <p>部活動の地域展開について、令和8年度から令和13年度が改革実行期間とされているが、本市の具体的な展開について問う。</p> <p>(1) 改革実行期間前期として、令和10年度から学校部活動で休日の地域展開を実現するとなっているが、本市はどう考えているのか。</p> <p>(2) 実現に向けて具体的なスケジュールは。</p> <p>(3) 課題はどう見えているのか。</p> <p>(4) 地域展開する上での保護者負担はあるのか。</p> <p>令和7年11月11日に日本維新の会から、高市早苗首相に現行ルートだけでなく、他の合理的なルートへの変更を検討するよう提言書が手渡された。また、当時、閣議決定された、北陸新幹線口丹波建設促進協議会でも要望がなされてきた亀岡ルートも含めた第三の選択肢を与党のプロジェクトチームで議論し現実的なルートを選定した上で、早期実現をしていくと聞いている。本市の考え方について問う。</p> <p>(1) ルート再検証及び調査の動きをどう捉えているのか。</p> <p>(2) ＪＲ京都駅が諸課題によって、中間駅の候補から外されることになった場合、本市</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長</p>

			内に駅の設置を許容する考えはあるのか。	
21	<p>福井 英昭 12月12日(金) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市の誕生について</p> <p>2 敬老事業について</p> <p>3 特殊詐欺防止施策について</p>	<p>市制施行70周年を記念し、最終的に1町17村の全国に例をみない対等大合併を成し遂げ、市制施行に至った本市誕生までの歴史を振り返る。</p> <p>(1) 大合併に至った理由と、その背景は。</p> <p>(2) 大合併に至る経過はどのようなものであったのか。</p> <p>(3) 合併に際して、各村では、京都市編入、高槻市編入、能勢町編入、船井郡編入など、それぞれに経過があるが、どのようなものであったのか。</p> <p>(4) 篠村編入についての経過は。</p> <p>(5) 亀岡市の行政に関わるものとして、この歴史的事実をどのように評価し、今にどのように生かすべきだと考えるのか。</p> <p>市制施行70周年式典にて、斬新な手法が採られ、成功に終わったと考えているが、数点、疑問に残るところがあった。これについて問う。</p> <p>(6) 式典では、大変暑い中、来賓等に座っていただいたが、配慮はなかったのか。</p> <p>(7) 外国からのお客様に対する配慮はよかったが、近隣市町の首長様などに対して「式辞」でお礼もなかったのは、失礼ではないのか。</p> <p>(8) 式典、レセプションを通して、第5代、第6代市長が御出席いただいたにも関わらず、紹介さえなかったのは、70周年を祝う会においては、不適切ではなかったのか。</p> <p>敬老会の大切さと意義、また補助金について問う。</p> <p>(1) 敬老会の意義は何か。</p> <p>(2) 敬老会補助金について、減額前の金額に戻すことは考えられないか。</p> <p>特殊詐欺と言われる詐欺事案は、姿を変え、形を変え、悪い意味で進化して、高齢者を中心に被害を与え続けている。警察を中心に様々な施策も打たれているが、本市としてはどのような施策を行っているのかを問う。</p> <p>(1) 本市として行っている特殊詐欺防止に対する施策はどのようなものがあるのか。</p> <p>(2) 警察が行っている施策は、どのようなものがあるのか。</p> <p>(3) 国際電話利用契約の利用休止申込みを警察は行っているが、本市はどのように協力しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 野良猫の増加について	<p>市域では、野良猫の数が増えているようにみえる。対策について問う。</p> <p>(1) 野良猫の実数はつかんでいるのか。</p> <p>(2) 本市が行っている対策は。</p> <p>(3) 避妊・去勢手術の補助金を事前申請ではなく、事後申請にできないか。</p> <p>(4) 市内には、相当数の猫の保護を自力のみで行っていただいている方々がいる。これらの方々の行動をどうみるか、所見は。</p>	市長 所管部長
22	<p>西口 純生 12月12日(金) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	1 市長の政治姿勢について	<p>来年は、角倉了以・素庵が保津川を開削して420年を迎えるとともに、秋には全国都市緑化フェア in 京都丹波が開催される。保津川開削400年の際には、保津小学校の児童が英国王室に「一緒に保津川下りをしませんか」と手紙を送ったが実現できなかったという経過がある。そこで、保津川開削の顕彰委員会を立ち上げ、角倉了以・素庵の顕彰事業として、全国都市緑化フェアと併せて再度実現に向けて挑戦したいと思い、準備を進めている。欧州は環境問題に関して敏感であると聞くと、英国王室が来やすい環境づくりについて問う。</p> <p>(1) 全国都市緑化フェア in 京都丹波における亀岡市のテーマを「環境との共生の緑化フェア・亀岡」としてはどうか。絶滅危惧種アユモドキと共生のまち・亀岡をうたい文句に、清流の中で産卵・生育・落水して本流に戻るまで見守る環境保全活動によって、欧州の人たちに日本の豊かな自然を印象づけることが望ましいと考えるが、所見は。</p> <p>(2) 来賓の出迎えに、皇族が来られることになれば、多くの市民で歓迎したいと考えるが、高齢者や小・中学生の出迎えのスペースが必要だと考えるがどうか。</p> <p>2006年に、保津川開削400年記念として、保津小学校の子どもたちが、英国王室・エリザベス女王と、ウィリアム王子に「王室と一緒に保津川下りがしたい」と手紙を送ったが、その時は残念ながら実現できなかった。来年は保津川開削420年であり、20年ぶりに英国王室に働きかけたい。今回はチャールズ国王とウィリアム王子に手紙を出し、再度、子どもたちに夢を実現するために挑戦させてあげたい。子どもたちの力で挑戦し、王室を動かしたとなれば、世界中に亀岡の子どもたちが、夢の挑戦・実現した功績を知らしめることができる。</p> <p>(3) 子どもの夢を実現させるために、市長の知恵を貸していただきたい。よい手立てはないか。</p> <p>(4) この機会を通じて、全国都市緑化フェアにも英国王室を呼べないか。</p>	市長

		<p>（５）私は、角倉了以・素庵を大河ドラマの主人公にしたいと考えており、京都文化創生機構理事長も同様の思いであるが、市長の所見は。</p>	
	<p>２ インクルーシブ公園について</p>	<p>インクルーシブ公園とは、障がいの有無・年齢・性別・国籍に関わらず、全ての人が一緒に、楽しく利用できる公園であり、誰もが利用でき、誰も仲間外れにしないという考えに基づいている。このような公園の在り方について、亀岡市として取り組む姿勢について問う。</p> <p>（１）インクルーシブ公園は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、段差がない設計、車いすでも利用できるブランコ、スロープ付滑り台など、多様なニーズに対応した遊具が設置されているものであり、子どもから高齢者まで、幅広く家族そろって憩えるメリットがある新しい時代の遊び場であるが、どのように認識しているのか。</p> <p>（２）全国で各地域の特色を生かしたインクルーシブな公園整備を行っており、東京都世田谷区では「みんなのひろば」、新宿区では「ちびっこ広場」、品川区では「なかよしひろば」、千葉県千葉市では「青葉の森」など、親しみやすい名称をつけている。亀岡市においてもインクルーシブな視点も含め、特色ある公園づくりを行ってはどうか。</p> <p>（３）近隣では、長岡京市がインクルーシブ公園づくりを行うために「いつでもだれでもみんなが憩い楽しめる公園づくり」整備指針を定め、取組を進めているが、本市の考えはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>